

経営者の視点から見た ATP ふき取り検査の活用価値 ～衛生管理の向上、社員の意識改革、営業ツールなど多面的な効果～

株式会社ヤマナシヤ 代表取締役

久松 一弘 氏



工場編

卵焼きなどの鶏卵加工品の製造を主業務とする株式会社ヤマナシヤでは、2014年に東京都食品衛生自主管理認証制度の認証取得をするなど、食品安全・衛生管理の向上に精力的に取り組んでいる。同社では都認証制度に取り組む以前から細菌検査は実施していたが、「ある商品の一般生菌数がなかなか下がらない」という状況に直面して、改善策を模索していた。その際、ATPふき取り検査の簡便性・迅速性に着目。当該製品の製造工程に沿って、施設内のATP検査を実施した結果、汚染源の特定（衛生管理が不十分な箇所の特定）に成功した。

本講演録において久松氏は「ATP検査では、汚染のある箇所が10秒程度で可視化（数値化）できるので、衛生管理水準の向上や、従業員の衛生意識の高揚に大きな効果を上げている。しかも、それだけではなく、当社の営業スタッフが対外的に『工場における食の安全・安心への取り組み』を説明する際の『営業ツール』としても貢献している」と語る。